令和8年10月時点

令和8年度

「介護テクノロジー等活用ミーティング」開催のご案内

～　本音で語ろう！　介護現場で働くみんなの情報交換会　～

1. 背景・目的

高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化するなか、介護ロボットやICT等のテクロジーを上手に活用し、介護現場の生産性を向上する取り組みが各所で実施されています。

一方、テクロジーを高齢者・障害者介護の現場において利用する場合、利用者のADLの維持・向上と安全確保は勿論のこと、介護サービスの質や介護職員の負担軽減にも十分配慮しながら導入・利活用することが求められます。

こうした背景のもと、当協会では昨年度に続き、介護テクノロジー等（福祉用具やロボット・ICT 機器を含む。）の導入及び利活用に関する情報交換の場として**「介護テクノロジー等活用ミーティング」**をオンライン開催することといたしました。

本ミーティングでは、介護テクノロジーの導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護テクロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することを目的といたします。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。



2. 開催予定

全5回、下記の日付とテーマで開催いたします。

※詳細は、別紙（日程表）をご覧ください。

11月				
10日（火）	11日（水）	12日（木）	13日（金）	14日（土）
オンライン開催				
13時～15時				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した生産性向上の取組みを推進しよう	介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう	介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう	デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう	居宅介護サービスにおける介護機器及びICT の導入・利活用を考えよう

1)内容

①介護テクノロジー等に関する最新情報など(厚生労働省)
②都道府県における介護現場の生産性向上に向けた取組状況
③介護施設・事業所等による発表(2者)
④フリートーク(情報や課題の共有)

別紙参照

2)主な参加者

介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政　等
〇特別養護老人ホーム　〇介護老人保健施設　〇有料老人ホーム　〇グループホーム
〇軽費老人ホーム　〇養護老人ホーム　〇居宅介護サービス　〇行政　等

3)定員

各日ともに　300名(先着順)
※定員となりしだい、締め切らせていただきます。



4)開催方法

ズームミーティングを活用したオンライン開催



5)参加者申込み(無料・先着順)

当協会ホームページから行ってください。
申込期日は、参加を希望する開催日の前日までとさせていただきます。

申し込み先(協会HP):
https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39_detial

注)本ミーティングは、厚生労働省「福祉用具・介護テクノロジー実用化支援・調査・広報等一式」の事業の一環として実施しています。
注)オンラインによるリアルタイム配信のみとなります。別の日には視聴できません

3. 本件に関する問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会　担当:伊東、松本、堀江、五島
〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸１番１号　セントラルプラザ4階
電話　03－3266－6883　FAX　03－3266－6885
E-mail　robocare@techno-aids.or.jp



別紙

令和8年度　介護テクロジー等活用ミーティング　日程表(案)
～　本音で語ろう！　介護現場で働くみんなの情報交換会　～

1. 開催日	11月				
	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)
2. 時間	13：００～15：００				
3. 開催方法	オンライン開催				
4. 主なテーマ	A	B	C	D	E
	介護機器等を活用した生産性向上の取組みを推進しよう	介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう	介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう	デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう	居宅介護サービスにおける介護機器及びICTの導入・利活用を考えよう
5. 募集人数	各日ともに、定員300名（先着順）				
6. 参加対象者	介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政　等				
7. 内容	（敬称略）				
◆開会　13:00～　公益財団法人テクノエイド協会　活用ミーティング開催の背景、ねらい					
セッション1 (13:05～14:15)	1. 介護テクロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう ①介護テクノロジー等に関する最新情報など(15分) 13:05-13:20 介護テクノロジーに係る施策の動向について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室　介護テクノロジー政策調整官　山﨑　陽介 ②介護現場の生産性向上に向けた介護テクノロジー等の開発・実証・普及調査広報事業(15分) 13:20-13:35 都道府県における介護現場の生産性向上に向けた取組状況 NTTデータ経営研究所　永田　拓磨　/　大塚　梨紗　/　太刀川　遼 ③介護テクロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について(各20分)13:35-14:15				
	多様な介護テクノロジーの活用による業務の効率化と介護負担の軽減 ～ 導入の工夫とその効果(解説) ～ 特別養護老人ホームレモンの樹東海 施設長　宝地　章浩	AI見守りカメラの活用による多職種連携と映像分析を通じた介護の質の向上 社会医療法人中山会 介護付きホーム　宝木荘 施設長　大垣　治彦	小規模事業者でも実践できる看多機運営モデル ～ 人材・設備・ICTを活かした業務改善 ～ 看護小規模多機能型居宅介護 ほーむかろん 管理者　山下　友香	送迎業務の効率化とリハビリ時間の拡充 ～ 2施設間での送迎情報の共有・構築 ～ 社会福祉法人　育徳園 高齢者デイサービスセンター　いくとくⅡ 藤原　智宏 / 廣谷　直樹	システム導入と業務改善によるケアマネジャーの負担軽減 ～ ICTを活用した情報共有と連携の効率化 ～ 高茶屋指定居宅介護支援センター シルバーケア豊壽園 施設長　島田　美麻
	入浴支援の生産性や介護の質の向上に関する研究開発 (AMED採択事業) ニチイ学館　GENBA SMILE Lab 所長　松本　裕美子	ICTを活用した見守りによる転倒事故の防止と夜間業務の負担軽減 ～ 予測型ケアの実現に向けた取組 ～ ふたみ介護老人保健施設 シルバーケア豊壽園 施設長　西井　健太	要介護者の自立支援を抜本的に改善するDXパッケージの効果検証 (AMED採択事業) ノバケア株式会社 峰松　恵里	送迎ルート作成ツールの導入による属人化の解消 ～ 利用者と向き合う時間の創出 ～ 社会福祉法人水光会 しらぬい荘デイサービスセンター 生活相談員　池田　真一朗	介護テクノロジーを活用した在宅生活の質向上 ～ コミュニケーションの活性化 ～ リハビリ型デイサービス リハサロン祖師谷 施設長　河野　礼子
個人ワーク (14:15～14:25)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理				
セッション2 (14:25～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう				

※各開催日の定員は300名(先着順)とさせていただきます。(定員となりしだい締切させていただきます。)